

報告日 令和8年1月8日  
報告回次 2回目

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	堺市教育委員会 中央図書館			代表者名	南 健次
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	072-244-3811
担当者役職	管理係	担当者氏名	深澤 泰宏	連絡先E-mail	
住所	590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町18-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	市内図書館のデジタルサイネージ導入					
概要	市立図書館でのデジタルサイネージ機器導入に伴い、デジタルサイネージ機器の有効活用方法や職員のデジタルリテラシーを向上させ、地域住民に対し有益な情報提供をおこなうための研修を実施したい。							
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館							

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月19日	講演(実地)	13時00分	16時00分	
				活動時間（分）	180
2-2. 派遣場所	会場名	堺市立中央図書館		最寄駅	百舌鳥駅
	所在地	堺市堺区大仙中町18-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	栗津 千草
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	デジタル媒体で告知する際のデザインについて、基礎の理論を講義いただくとともに、実際に職員が作成したものを例にして職員同士で確認し合うことができました。またデジタル化することの利便性と、危険性を職員同士話し合い発表することで、職員自身の再確認と気づきにつながりました。
アドバイザーへの要望事項	今回の研修でデジタルサイネージ運用の第一歩を踏み出したばかりなので、次回のフォローアップで運用ルール策定のポイントなども知りたい。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	15人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	15	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	令和7年11月、市立図書館7館にデジタルサイネージ機器を導入し、静止画による多様な情報発信と動画の放映を予定しています。地域住民の方にさらに親しみやすく・わかりやすい情報発信を幅広くおこなえるよう、職員のデジタルリテラシーの向上と、デジタル機器の効果的な活用をするため、職員が特性を理解し、有効に情報を発信できるスキルとともに、発信時の注意点を学ぶことが求められています。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	デジタルサイネージを通じて市民に対して、市立図書館のより豊かな情報提供をおこなうことから始め、ステップバイステップで地域における情報ハブとしての役割も担えるよう運用を進めていく計画です。これにより、市民のコミュニティの場としての図書館をさらに活用いただき、つながりが生まれ、興味や学びの場が拡充される場所になることをめざします。そのために、まずは令和7年12月末までに、運用する職員がデジタルリテラシーを身につけ、導入直後の機器運用と、学んだリテラシーを基に、定期的な更新をおこなえるようにします。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	デジタルサイネージでのお知らせ配信の基本ポイントについて講義いただきました。 ・写真、動画使用時の注意点（肖像権・著作権への配慮、市民の感情への配慮） ・アクセシビリティについて、デザインの観点からの配慮 ・運用フローのポイントについて ・質疑応答
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	アクセシビリティをふくめた、デザインの基礎については学ぶ機会がないものだったので、デジタル配信にあたってのポイントや、作成方法について新たな気づきがありました。 また法律的な観点からの注意だけでなく、感情や解釈への配慮も必要であることに、職員自身の経験も踏まえて考える時間を設けていただいたことで、改めて認識を深めることができました。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない アンケートを集計し、今後の運用に役立てたい。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 集計中のため、今回はありません。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ①予算は確保済みであり、年度内に推進する 令和7年12月末までに、運用する職員がデジタルリテラシーを身につけ、導入直後の運用と、定期的な更新をおこなえるようにします。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	令和7年12月末までに、デジタルサイネージ導入直後の運用と、定期的な更新を実施、その後段階的に発信の幅を広げ、市民に役立つ情報を、デジタルの利便性を活用して届けられるよう、運用ルールなどを策定していきます。

#### 5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  揭載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good\\_practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/)

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

